

# 秦野市 橋りょう長寿命化修繕計画 (個別施設計画)



令和 7 年 3 月  
令和 7 年 1 1 月 (一部改訂)

## 目 次

1.	長寿命化修繕計画の背景と目的 .....	1
1. 1.	背景.....	1
1. 2.	目的.....	2
2.	長寿命化修繕計画の対象施設 .....	3
3.	健全性の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針.....	4
3. 1.	健全性の把握.....	4
3. 2.	日常的な維持管理に関する基本的な方針.....	4
4.	計画全体の方針 .....	5
4. 1.	老朽化対策における基本方針.....	5
4. 2.	新技術等の活用方針.....	8
4. 3.	費用の縮減に関する具体的な方針.....	8
5.	計画全体の目標 .....	9
5. 1.	集約・撤去や新技術等の活用に関する短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果.....	9
6.	計画対象期間における事業計画 .....	9
7.	長寿命化修繕計画による効果 .....	10
8.	意見聴取した学識経験者、計画策定部署.....	11
8. 1.	意見聴取した学識経験者.....	11
8. 2.	計画策定部署.....	11

### 【別紙 1】個別の構造物ごとの事項

- ・ 構造物の諸元
- ・ 直近における点検結果及び次回点検年度
- ・ 対策内容
- ・ 対策の着手・完了予定年度
- ・ 対策に係る全体概算事業費

## 1. 長寿命化修繕計画の背景と目的

### 1.1. 背景

平成19年4月に、国が地方公共団体に通知した「長寿命化修繕計画策定事業費補助制度要綱<sup>1</sup>」により、従来の事後的な修繕及び架替えから、予防的な修繕へ政策転換を図ることが求められるようになりました。このため、本市が管理する認定市道上の174橋のうち、橋長が2m以上でカルバート形式を除いた144橋について、平成24年8月に橋りょう長寿命化修繕計画を策定しました。

その後、国が平成25年11月に策定した「インフラ長寿命化基本計画<sup>2</sup>」に基づき、道路管理者は、インフラの維持管理・更新等を着実に推進するための中期的な取組の方向性を明らかにする「インフラ長寿命化計画」を策定することが求められました。これを受け、本市では「秦野市公共施設等総合管理計画」を策定しています。さらに、その計画に基づき、個別施設毎の具体の対応方針を定める「長寿命化修繕計画（個別施設計画）」を策定することが求められました。本計画は、個別施設計画の内、「橋りょう長寿命化修繕計画」に位置付けられます。

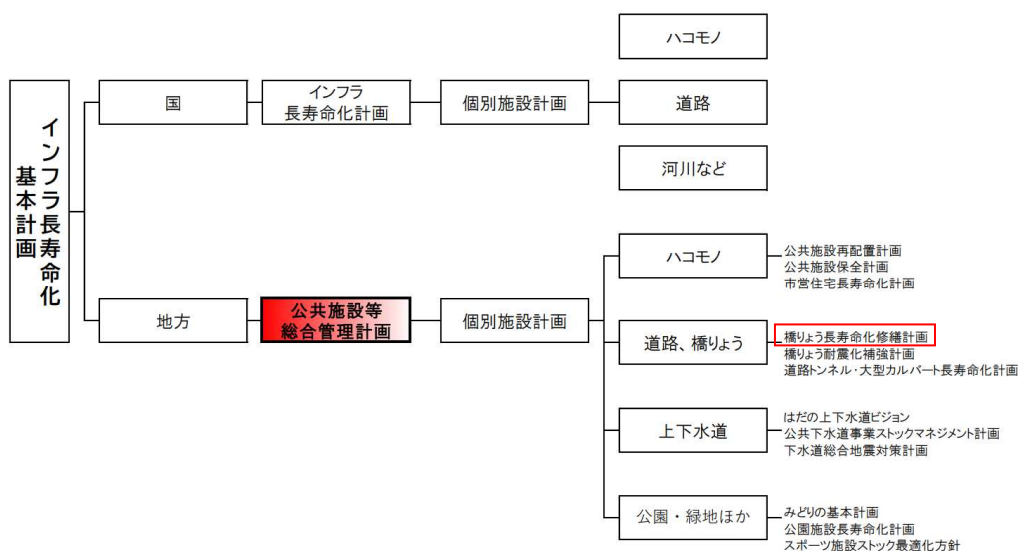


図1-1 計画の体系図<sup>3</sup>

また、平成26年7月には、道路法施行規則の一部改正が施行され、5年に1回の頻度で近接目視により定期点検を行うことが基本となりました<sup>4</sup>。これを踏まえ、平成26年度から平成28年に定期点検を実施し、平成29年6月に橋りょう長寿命化修繕

<sup>1</sup> 長寿命化修繕計画策定事業費補助制度要綱は、メンテナンス事業補助制度要綱（令和2年3月31日）の通知により廃止されています。

<sup>2</sup> インフラ長寿命化基本計画は、平成25年6月に閣議決定した「日本再興戦略」に基づき、インフラ老朽化対策の推進に関する関係省庁連絡会議において、同年11月にとりまとめられた基本計画です。

<sup>3</sup> 秦野市公共施設等総合管理計画（令和5年3月改定）p.2

<sup>4</sup> 道路法施行規則第四条の五の六

計画を一部改定しました。平成29年10月に耐震補強工事と修繕工事を同時に行うことにより効率化を図ることができることから、一部改訂をしました。また、令和4年11月には一部改定を行い「新技術等の活用方針及び集約・撤去や新技術等の活用に関する短期的な数値目標及びコスト縮減効果」等を追記しました。本計画は、令和元年度から令和5年度に定期点検を実施した167橋について、橋りょう長寿命化修繕計画を改定するものになります。

表1-1 橋りょう長寿命化修繕計画の策定経緯

年版	備考
平成24年8月	策定
平成29年6月	一部改定（対策の内容一覧表の改定）
平成29年10月	一部改定（対策の内容一覧表の改定）
令和4年11月	一部改定（新技術等の活用方針を追加）
令和7年3月	改定（本計画）

## 1.2. 目的

長寿命化修繕計画の目的は、以下の通りとします。

- ・ 定期点検の結果や施設の重要性を踏まえた修繕の優先順位を設定することで、効率的に修繕を実施します。
- ・ 修繕計画を踏まえたメンテナンスサイクルを構築することで、橋りょうの長寿命化、大規模修繕の回避、中長期的なトータルコストの縮減及び予算の平準化を図ります。

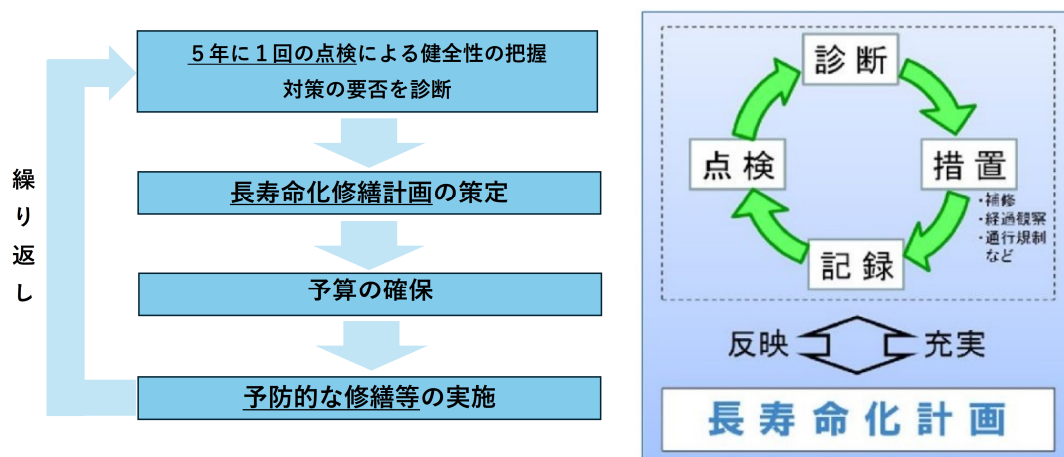


図1-1 長寿命化修繕計画の目的<sup>5</sup>

<sup>5</sup> 道路のメンテナンスサイクルの構築に向けて（平成25年6月 社会資本整備審議会 道路分科会 道路メンテナンス技術小委員会）における、「道路メンテナンス技術小委員会の中間とりまとめについて」及び「第4回道路メンテナンス技術小委員会 配布資料」より

## 2. 長寿命化修繕計画の対象施設

---

### (1) 対象橋りょうの名称及び諸元

対象橋りょうの名称及び諸元は別紙1の通りです。

### (2) 対象橋りょうの道路条件

対象橋りょうの道路条件は表2-1の通りです。

表2-1 道路条件

緊急輸送道路 <sup>6</sup>	緊急輸送道路 補完道路 <sup>7</sup>	その他道路 <sup>8</sup>	合計
1	0	166	167

### (3) 対象橋りょうの桁下条件

対象橋りょうの桁下条件は表2-2の通りです。

表2-2 桁下条件

緊急輸送道路 <sup>6</sup>	緊急輸送道路 補完道路 <sup>7</sup>	その他道路 <sup>8</sup>	鉄道	河川・水路	合計
10	0	2	5	150	167

---

<sup>6</sup> 緊急輸送道路とは、地震等の大規模災害発生直後から救助活動人員や物資等の緊急輸送を円滑かつ確実に行うための道路です。

<sup>7</sup> 緊急輸送道路補完道路とは、緊急輸送道路を補完する道路です。

<sup>8</sup> その他道路とは、緊急輸送道路、緊急輸送道路補完道路以外の道路です。

### 3. 健全性の把握及び日常的な維持管理に関する基本的な方針

---

#### 3.1. 健全性の把握

---

本市では、令和元年度から令和5年度に167橋の定期点検を実施しました。点検結果は、表3-1に示す、健全性の診断の区分（以下「健全性」という。）に分類しています。計画対象橋りょうの健全性は別紙1の通りです。

表3-1 健全性の診断の区分<sup>9</sup>

健全性		状 態
I	健全	構造物の機能に支障が生じていない状態。
II	予防保全段階	構造物の機能に支障が生じていないが、予防保全の観点から措置を講ずることが望ましい状態。
III	早期措置段階	構造物の機能に支障が生じる可能性があり、早期に措置を講ずべき状態。
IV	緊急措置段階	構造物の機能に支障が生じている、又は生じる可能性が著しく高く、緊急に措置を講ずべき状態。

#### 3.2. 日常的な維持管理に関する基本的な方針

---

橋りょうを良好な状態に保つため、日常的な維持管理として、パトロールや清掃などを行います。

---

<sup>9</sup> トンネル等の健全性の診断結果の分類に関する告示（平成二十六年国土交通省告示第四百二十六号）

## 4. 計画全体の方針

### 4.1. 老朽化対策における基本方針

#### (1) 適用方針

本計画は「橋梁長寿命化修繕計画基本方針<sup>10)</sup>」に基づき策定することを基本とします。

#### (2) 管理水準

予防保全型にて管理する橋りょうについては、健全性Ⅱとなった段階で優先順位に応じて順次修繕を行います。修繕を実施する橋りょうは健全性Ⅰに回復させ、全対象橋りょうの健全度を健全性Ⅱ以下に保ちます。

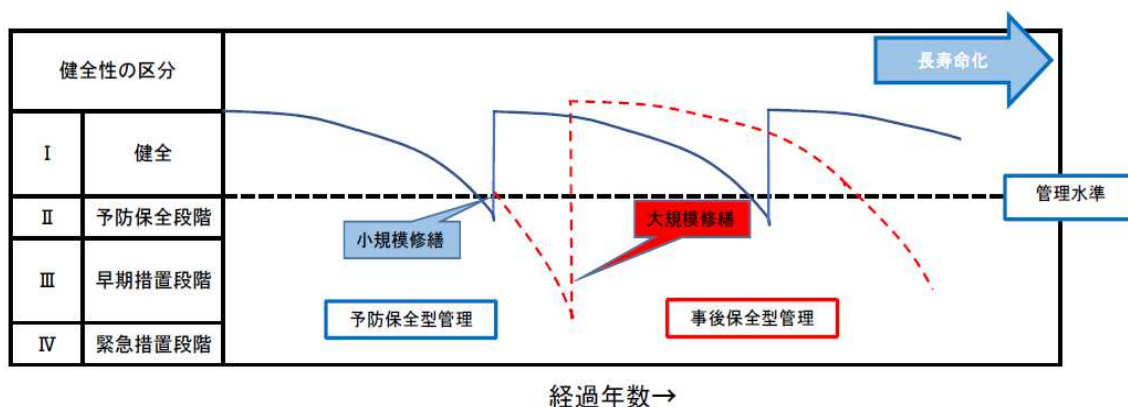


図4-1 管理水準<sup>11)</sup>

<sup>10)</sup> 橋梁長寿命化修繕計画基本方針とは、神奈川県内の市町村が管理する橋りょうにおいて、道路管理者が統一的な管理及び効率的な維持管理を実施することを目的として策定された基本方針のことです。令和5年4月に（公財）神奈川県都市整備技術センターが策定しています。

<sup>11)</sup> 橋梁長寿命化修繕計画基本方針 p. 4

### (3) 管理方針

橋りょうの管理方針は、「予防保全型」を基本とします。予防保全型は、健全性がⅡとなった段階で、予算の範囲内で必要な対策を計画的に実施します。ただし、第三者被害のおそれの無い溝橋等で、構造特性や周辺状況により、大規模修繕を行う際の社会的影響が小さいと判断した橋りょうについては「事後保全型」で管理します。事後保全型は、健全性がⅢとなった段階で対策します。表4-1に予防保全型の管理方針、表4-2に事後保全型の管理方針を示します。計画対象橋りょうの管理方針は別紙1の通りです。

表4-1 予防保全型の管理方針<sup>12</sup>



健全性		管理方針	修繕優先度
I	健全	健全な状態であるため、修繕の対象外とします。	<div style="text-align: center;"> (低い)    (高い) </div>
II	予防保全段階	<u>予防保全の観点から、予算の範囲内で必要な対策を計画的に実施します。</u>	
III	早期措置段階	5年以内に優先して修繕を実施することを基本とします。	
IV	緊急措置段階	緊急措置が必要な状態であるため、本計画の対象外とします。	

表4-2 事後保全型の管理方針<sup>12</sup>

健全性		管理方針	修繕優先度
I	健全	健全な状態であるため、修繕の対象外とします。	<div style="text-align: center;"> (低い)    (高い) </div>
II	予防保全段階	<u>修繕の対象外とします。</u>	
III	早期措置段階	5年以内に優先して修繕を実施することを基本とします。	
IV	緊急措置段階	緊急措置が必要な状態であるため、本計画の対象外とします。	

<sup>12</sup> 橋梁長寿命化修繕計画基本方針 p. 4, p. 9 (一部修正)

#### (4) 修繕の優先順位

効率的に修繕を実施するため、修繕の優先順位を設定します。修繕の優先順位は、橋りょうの健全性と重要度指標<sup>13</sup>により、図4-2の通りとします。

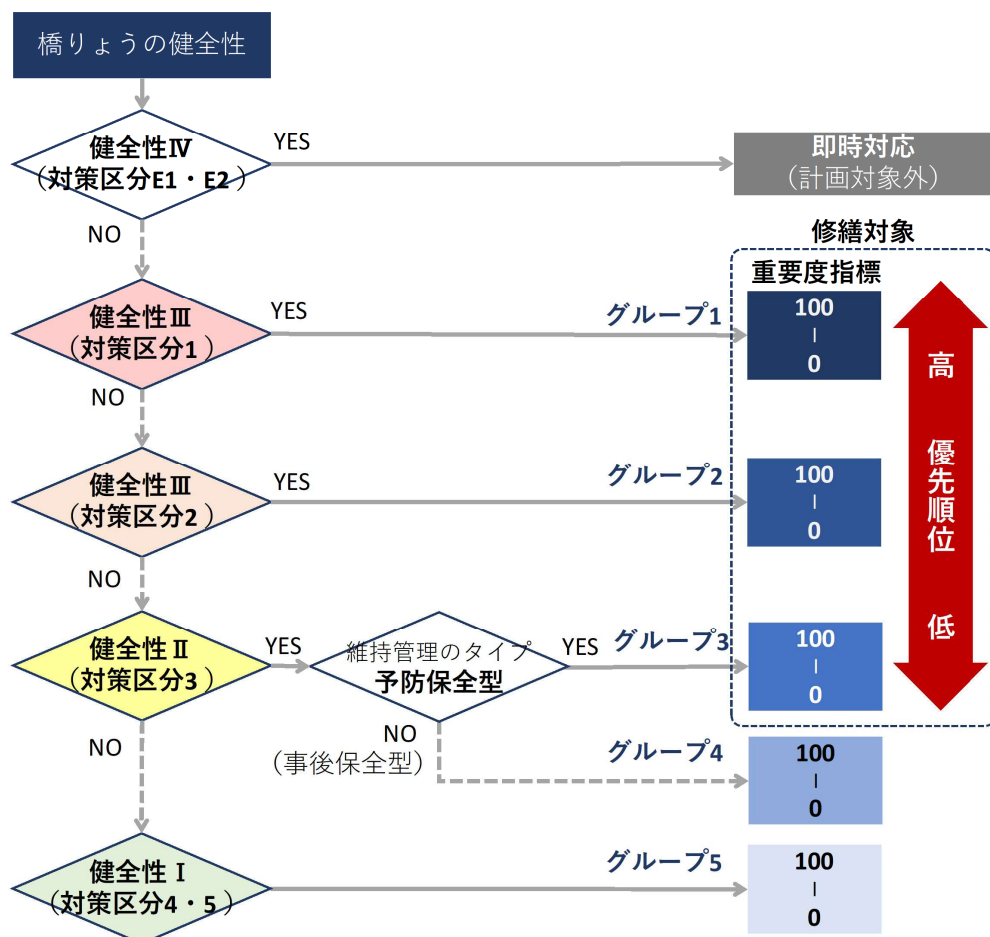


図4-2 修繕の優先順位<sup>14</sup>

<sup>13</sup> 重要度指標は、利用者・第三者・管理者の視点で評価項目と配点を設定し、その合計点数により施設の重要度を評価したものです。

<sup>14</sup> 橋梁長寿命化修繕計画基本方針 p. 23 (一部修正)。ここで、フローに示す対策区分とは、神奈川県市町村版定期点検要領【橋梁編】に基づき判定された数値です。

## 4.2. 新技術等の活用方針

---

新技術等の活用方針は、以下の通りとします。

- ・ 定期点検を実施する際は、点検支援技術性能カタログ<sup>15</sup>を参考にして、点検支援技術の活用を積極的に検討します。
- ・ 修繕を実施する際は、新技術情報提供システム (NETIS)<sup>16</sup>等を参考にして、新技術・新工法の活用を積極的に検討します。

## 4.3. 費用の縮減に関する具体的な方針

---

費用の縮減に関する具体的な方針は、以下の通りとします。

- ・ 橋りょうごとに最適な管理方針を決定することで、ライフサイクルコストの縮減を図ります。
- ・ 定期点検や修繕において、新技術等を積極的に活用することにより、事業の効率化やコスト縮減を図ります。
- ・ 利用状況などから、集約・撤去が可能な橋りょうについては、地域住民との合意形成や関係機関との調整を進めていきます。集約・撤去の実現により、維持管理の効率化やコスト縮減を図ります。

---

<sup>15</sup> 点検支援技術性能カタログとは、道路構造物の点検の効率化・高度化を推進するため、国土交通省が定めた標準項目に対する性能値を開発者に求め、開発者から提出されたものをカタログ形式でとりまとめたものです。

<sup>16</sup> 新技術情報提供システム (NETIS) とは、新技術の活用のため、国土交通省が新技術に関わる情報の共有及び提供を目的として整備したデータベースシステムのことです。

## 5. 計画全体の目標

---

修繕や点検などの事業の実施にあたっては、新技術等の活用を検討し、コスト縮減や事業の効率化を図ります。令和7年度(2025年度)～令和11年度(2029年度)の5年間における方針は以下のとおりとします。

### 5.1. 集約・撤去や新技術等の活用に関する短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果

---

#### (1) 集約・撤去に関する短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果

利用状況がほとんど無く、迂回路が存在する3橋程度について、令和11年度(2029年度)までに集約・撤去を目指します。集約・撤去により、約560万円の維持管理費の縮減を目指します。

#### (2) 新技術等の活用に関する短期的な数値目標及びそのコスト縮減効果

##### 1) 定期点検

橋梁点検車やロープアクセス工法により点検している橋りょうの内、2橋について、点検支援技術の活用を目指します。点検支援技術の活用により、令和11年度(2029年度)までに定期点検費用について約9万円のコスト縮減を目指します。

##### 2) 修繕

本計画の対象期間内で修繕を行う橋りょうの内、1橋程度について、新技術・新工法の活用を目指します。新技術・新工法の活用により、令和11年度(2029年度)までに修繕工事費用について約73万円のコスト縮減を目指します。

## 6. 計画対象期間における事業計画

---

#### (1) 対策内容

令和7年度(2025年度)から令和11年度(2029年度)の対策内容は、別紙1の通りとします。

#### (2) 次回の点検年度

次回の定期点検は、令和6年度(2024年度)から令和10年度(2028年度)に実施します。対象橋りょうごとの次回点検年度は、別紙1の通りとします。

#### (3) 次回の長寿命化修繕計画の改定年度

次回の改定は令和11年度(2029年度)に実施します。

## 7. 長寿命化修繕計画による効果

計画対象橋りょうについて、損傷が軽微なうちに修繕を行う「予防保全型<sup>17</sup>」と、損傷が深刻化してから大規模修繕を行う「事後保全型」で、50年間に要する費用をシミュレーションしました。

シミュレーション結果より、予防保全型による修繕費用は38.2億円、事後保全型による修繕費用は49.4億円となりました。予防保全型の維持管理をすることにより、約22.7%のコスト縮減効果（差額約11.2億円）が見込まれます<sup>18</sup>。

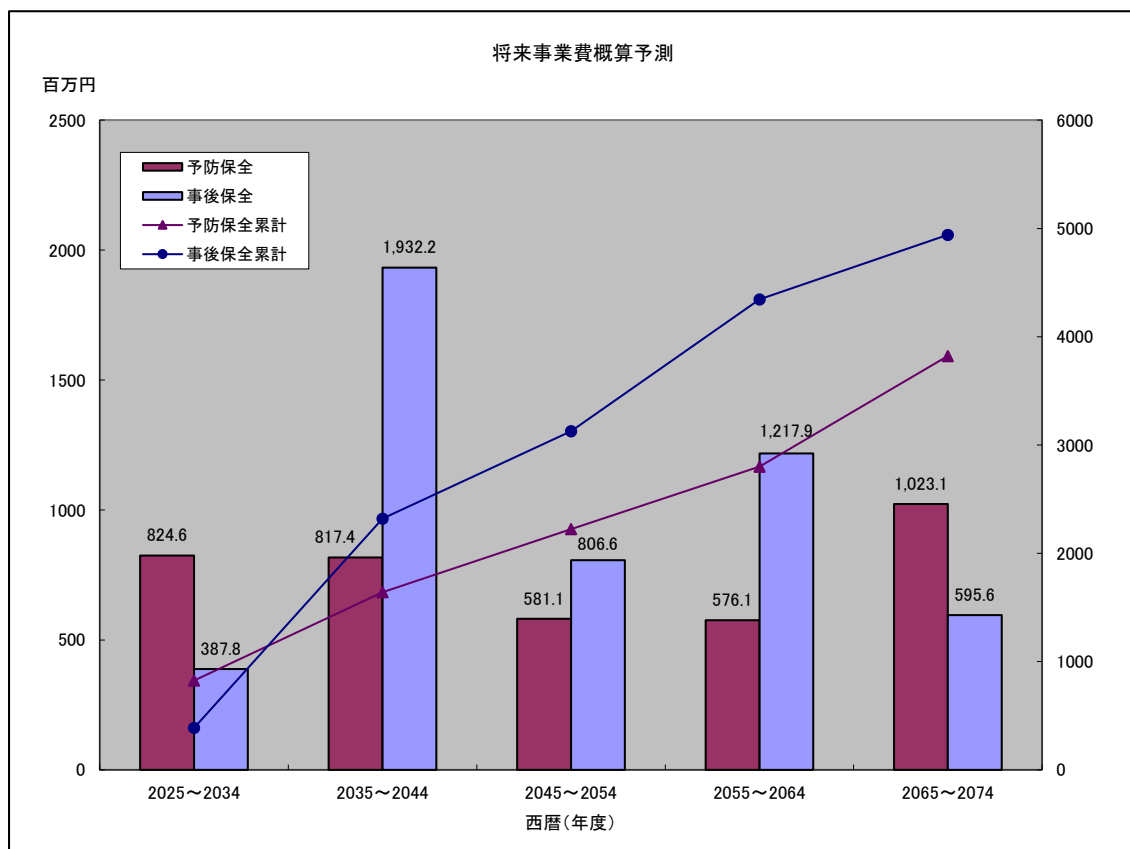


図 7－1 50 年間の修繕費用の試算

<sup>17</sup>このシミュレーションで定義する「予防保全型」とは、別紙 1 に記載した管理方針とします。

<sup>18</sup>今後、定期点検データを蓄積していくことで、さらなる精度向上が図れるため、現在の値に固定化されるものではありません。

## 8. 意見聴取した学識経験者、計画策定部署

---

### 8.1. 意見聴取した学識経験者

---

関東学院大学	理工学部	出雲 淳一	教授
横浜国立大学	大学院 都市イノベーション研究院	勝地 弘	教授

### 8.2. 計画策定部署

---

秦野市 建設部 道路整備課

TEL : 0 4 6 3 - 8 2 - 9 6 3 6

## 個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				管理方針	直近における点検結果		次回点検年度	2025年度～2029年度の対策内容
	橋りょう名	橋長(m)	橋梁形式	竣工年		点検年度	健全性 (対策区分)		
1	政ヶ谷戸橋	3.00	溝橋	不明	事後保全型	2023	I (5)	2028	
2	市道 1 号線 1 号橋	4.30	溝橋	1991	事後保全型	2023	II (3)	2028	
3	古堂橋	6.20	RC橋	1978	予防保全型	2023	II (3)	2028	
4	馬場橋	8.75	RC橋	1953	予防保全型	2023	II (3)	2028	
5	中村橋	24.30	PC橋	1979	予防保全型	2022	II (3)	2027	
6	金目川橋	20.10	PC橋	2001	予防保全型	2022	I (4)	2027	
7	蛇久保橋	3.90	RC橋	1955	予防保全型	2021	III (2)	2026	※R6修繕済み
8	天神橋	27.30	PC橋	1991	予防保全型	2020	II (3)	2025	主桁, 床板(床版防水工, ひび割れ注入工, 断面修復工) ※R6一部修繕済み
9	富士見大橋	43.20	PC橋	1965	予防保全型	2022	II (3)	2027	橋台(ひび割れ注入工, 断面修復工)
10	葛葉大橋	65.00	鋼橋	1984	予防保全型	2022	II (3)	2027	
11	久保橋	3.00	RC橋	1926	予防保全型	2022	II (3)	2027	
12	上小藤橋	3.95	RC橋	1925	予防保全型	2022	II (3)	2027	
13	下中尾橋	20.75	PC橋	1983	予防保全型	2022	I (4)	2027	
14	水無瀬橋	39.40	PC橋	1969	予防保全型	2022	II (3)	2027	主桁(ひび割れ注入工, 断面修復工)
15	才戸橋 1	30.70	鋼橋	1975	予防保全型	2019	II (3)	2024	主桁, 鋼床版, 橋台(塗装塗替工, ひび割れ注入工, 断面修復工)
16	河路橋	5.60	RC橋	1938	予防保全型	2023	I (5)	2028	
17	本八沢橋	9.00	PC橋	2000	予防保全型	2023	II (3)	2028	
18	川路橋	14.80	PC橋	1998	予防保全型	2020	I (4)	2025	
19	沢下橋	5.10	PC橋	不明	予防保全型	2023	II (3)	2028	
20	1 号橋 1	7.30	PC橋	不明	予防保全型	2023	II (3)	2028	
21	菩提橋	7.70	PC橋	1967	予防保全型	2023	II (3)	2028	

## 個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				管理方針	直近における点検結果		次回点検年度	2025年度～2029年度の対策内容
	橋りょう名	橋長(m)	橋梁形式	竣工年		点検年度	健全性 (対策区分)		
22	倉見橋	5.70	RC橋	1966	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
23	新茅橋	10.80	PC橋	1966	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
24	1 号橋 2	10.60	PC橋	1993	予防保全型	2022	Ⅱ (3)	2027	
25	上葛葉橋	31.10	PC橋	1969	予防保全型	2019	Ⅱ (3)	2024	床版, 橋脚(床版防水工, ひび割れ注入工, 断面修復工)
26	2 号橋 1	6.00	RC橋	1969	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
27	丹沢橋	16.10	RC橋	1959	予防保全型	2019	Ⅰ (4)	2024	
28	葛葉橋	24.10	PC橋	1955	予防保全型	2019	Ⅰ (4)	2024	
29	矢ヶ瀧橋	2.90	溝橋	2018	事後保全型	2023	Ⅰ (5)	2028	
30	才戸橋 2	13.86	PC橋	1978	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
31	桜橋	37.85	PC橋	2002	予防保全型	2019	Ⅱ (M)	2024	
32	宝作橋	5.90	溝橋	不明	事後保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
33	十代橋	31.00	鋼橋	2003	予防保全型	2019	Ⅰ (4)	2024	
34	巻頭跨線橋	22.20	PC橋	1981	予防保全型	2020	Ⅱ (3)	2025	主桁, 床版, 橋台(床版防水工, ひび割れ注入工, 断面修復工)
35	中央橋	10.00	鋼橋	1969	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
36	南平橋	39.00	PC橋	1968	予防保全型	2019	Ⅱ (3)	2024	主桁, 床版, 橋台, 伸縮装置(床版防水工, ひび割れ注入工, 断面修復工, 伸縮装置交換)
37	日枝橋	2.70	RC橋	1931	予防保全型	2021	Ⅱ (3)	2026	
38	根古屋橋	5.40	RC橋	不明	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
39	明星橋	14.75	PC橋	1985	予防保全型	2021	Ⅱ (3)	2026	
40	中尾橋	12.00	PC橋	1970	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
41	畑中橋	5.50	RC橋	1960	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
42	川久保橋	9.15	PC橋	1982	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
43	まほろば大橋	35.10	鋼橋	1988	予防保全型	2019	Ⅱ (3)	2024	

## 個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				管理方針	直近における点検結果		次回点検年度	2025年度～2029年度の対策内容
	橋りょう名	橋長(m)	橋梁形式	竣工年		点検年度	健全性 (対策区分)		
44	桜沢橋	12.00	鋼橋	2001	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
45	四山橋	23.76	PC橋	1980	予防保全型	2019	Ⅱ (3)	2024	
46	山内橋	35.60	PC橋	1997	予防保全型	2019	Ⅱ (3)	2024	※R1修繕済み
47	向山橋	23.50	鋼橋	1983	予防保全型	2019	Ⅱ (3)	2024	
48	1号橋 3	11.00	溝橋	1989	事後保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
49	下矢坪橋	9.20	PC橋	1988	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
50	唐沢橋	6.00	RC橋	不明	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
51	横野大橋	6.04	RC橋	1975	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
52	1号橋 4	4.22	RC橋	不明	予防保全型	2022	Ⅰ (5)	2027	
53	菩提中橋	8.90	PC橋	2011	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
54	明学橋	6.00	RC橋	1933	予防保全型	2023	Ⅰ (5)	2028	
55	1号橋 5	9.08	PC橋	1985	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
56	2号橋 2	9.08	PC橋	不明	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
57	小羽根橋	22.70	PC橋	1981	予防保全型	2020	Ⅰ (4)	2025	
58	羽根人道橋	22.99	鋼橋	1976	予防保全型	2019	Ⅱ (3)	2024	
59	蓑毛新橋	32.00	鋼橋	1980	予防保全型	2019	Ⅱ (3)	2024	
60	鈴中橋	14.00	PC橋	不明	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
61	宮開戸橋	21.03	鋼橋	1980	予防保全型	2019	Ⅱ (3)	2024	
62	横曽根橋	3.00	RC橋	不明	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
63	1号橋 6	11.50	溝橋	不明	事後保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
64	宝ヶ谷戸橋	4.20	RC橋	1934	予防保全型	2022	Ⅱ (3)	2027	
65	1号橋 7	16.00	PC橋	1979	予防保全型	2019	Ⅱ (M)	2024	

## 個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				管理方針	直近における点検結果		次回点検年度	2025年度～2029年度の対策内容
	橋りょう名	橋長(m)	橋梁形式	竣工年		点検年度	健全性 (対策区分)		
66	原橋	6.00	RC橋	1934	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
67	豊橋	2.70	溝橋	1955	事後保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
68	下原橋	2.82	RC橋	不明	予防保全型	2022	Ⅱ (3)	2027	
69	金目原橋	60.00	鋼橋	1987	予防保全型	2019	Ⅱ (3)	2024	
70	扇沢橋	22.90	PC橋	1978	予防保全型	2019	Ⅱ (3)	2024	
71	九沢橋	22.00	PC橋	1973	予防保全型	2019	Ⅱ (3)	2024	床版, 橋台(床版防水工, ひび割れ注入工, 断面修復工)
72	中野橋	34.20	PC橋	2005	予防保全型	2019	Ⅰ (4)	2024	
73	中里橋 1	40.45	PC橋	1958	予防保全型	2020	Ⅲ (2)	2025	※R6修繕済み
74	蓬来橋	60.50	PC橋	1981	予防保全型	2020	Ⅱ (3)	2025	
75	根下橋	16.50	鋼橋	1987	予防保全型	2020	Ⅱ (3)	2025	
76	常盤橋	40.00	PC橋	1966	予防保全型	2020	Ⅱ (3)	2025	主桁, 床版, 橋台, 橋脚(床版防水工, ひび割れ注入工, 断面修復工)
77	天王下橋	24.00	PC橋	1963	予防保全型	2020	Ⅱ (3)	2025	
78	大安橋	35.40	PC橋	1984	予防保全型	2020	Ⅱ (3)	2025	
79	上ノ窪橋	40.40	鋼橋	1994	予防保全型	2021	Ⅰ (4)	2026	
80	大椿橋	40.00	鋼橋	1995	予防保全型	2021	Ⅰ (4)	2026	
81	矢茂井橋	7.62	PC橋	1986	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
82	舞台橋	3.70	溝橋	2005	事後保全型	2023	Ⅰ (5)	2028	
83	1号橋 8	2.35	RC橋	不明	予防保全型	2021	Ⅰ (5)	2026	
84	代々木一の橋	3.60	RC橋	不明	予防保全型	2022	Ⅱ (3)	2027	
85	代々木二の橋	2.40	RC橋	不明	予防保全型	2022	Ⅱ (3)	2027	
86	鶴逢橋	5.70	溝橋	2008	事後保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
87	1号橋 9	9.00	鋼橋	不明	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	

## 個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				管理方針	直近における点検結果		次回点検年度	2025年度～2029年度の対策内容
	橋りょう名	橋長(m)	橋梁形式	竣工年		点検年度	健全性 (対策区分)		
88	欠の上人道橋	56.00	鋼橋	1972	予防保全型	2020	Ⅲ (2)	2025	※R6修繕済み
89	峰/上橋	40.40	鋼橋	1993	予防保全型	2022	Ⅱ (3)	2027	床版, 橋台(床版防水工, ひび割れ注入工, 断面修復工, 剥落防止工)
90	谷戸橋	2.00	RC橋	1955	予防保全型	2021	Ⅱ (3)	2026	
91	長坂橋	3.00	RC橋	1955	予防保全型	2022	Ⅰ (5)	2027	
92	田中橋	4.40	溝橋	1991	事後保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
93	南谷戸橋	5.00	RC橋	1955	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
94	屋敷跨線橋	21.75	鋼橋	1927	予防保全型	2020	Ⅰ (5)	2025	
95	安藤橋	16.30	鋼橋	2008	予防保全型	2020	Ⅱ (3)	2025	
96	矢名橋	42.42	鋼橋	1995	予防保全型	2023	Ⅱ (M)	2028	床板, 舗装(剥落防止工, 橋面防水工)
97	八幡橋	6.72	RC橋	1980	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
98	萩山橋	5.44	RC橋	不明	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
99	小柿橋	5.50	溝橋	不明	事後保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
100	井戸窪橋	40.40	鋼橋	1994	予防保全型	2023	Ⅱ (M)	2028	※R6修繕済み
101	中沢橋	5.50	溝橋	不明	事後保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
102	向原橋	40.40	鋼橋	1995	予防保全型	2021	Ⅱ (3)	2026	※R6修繕済み
103	鉾ノ木橋	41.40	鋼橋	1994	予防保全型	2021	Ⅱ (3)	2026	※R5修繕済み
104	2号橋 3	5.50	溝橋	不明	事後保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
105	3号橋	5.50	溝橋	不明	事後保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
106	4号橋	5.50	溝橋	不明	事後保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
107	向開戸橋	5.80	RC橋	1932	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
108	上大道橋	3.30	RC橋	1952	予防保全型	2021	Ⅱ (3)	2026	
109	尾尻橋	14.50	PC橋	2001	予防保全型	2020	Ⅱ (3)	2025	

## 個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				管理方針	直近における点検結果		次回点検年度	2025年度～2029年度の対策内容
	橋りょう名	橋長(m)	橋梁形式	竣工年		点検年度	健全性 (対策区分)		
110	逆川橋	6.80	RC橋	1924	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
111	尾崎橋	14.76	PC橋	1985	予防保全型	2021	Ⅰ (4)	2026	
112	鶴巻橋	9.30	PC橋	1972	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
113	1 号橋 1 0	18.20	PC橋	1980	予防保全型	2020	Ⅱ (3)	2025	
114	上原橋	66.40	PC橋	1968	予防保全型	2022	Ⅱ (3)	2027	主桁, 橋脚 (, ひび割れ注入工, 断面修復工, 剥落防止工)
115	開戸橋	22.95	PC橋	1981	予防保全型	2020	Ⅱ (3)	2025	
116	芹沢橋	40.40	鋼橋	1993	予防保全型	2022	Ⅱ (3)	2027	床板, 橋台 (剥落防止工, 橋面防水工)
117	白笹橋	15.50	PC橋	1971	予防保全型	2020	Ⅱ (3)	2025	
118	1 号橋 1 1	14.00	鋼橋	2000	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
119	上峯橋	13.00	PC橋	1999	予防保全型	2023	Ⅰ (5)	2028	
120	寺井橋	5.50	RC橋	1935	予防保全型	2022	Ⅱ (3)	2027	
121	堀田橋	5.00	RC橋	1974	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
122	1 号橋 1 2	4.60	RC橋	不明	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
123	久那斗橋	4.40	RC橋	1926	予防保全型	2022	Ⅱ (3)	2027	
124	的橋	29.00	RC橋	1982	予防保全型	2020	Ⅲ (2)	2025	※R6修繕済み
125	1 号橋 1 3	5.00	溝橋	1982	事後保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
126	1 号橋 1 4	7.00	RC橋	不明	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
127	1 号橋 1 5	8.30	RC橋	不明	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
128	渋沢 9 号橋	6.00	RC橋	不明	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
129	吉原橋	6.88	RC橋	1982	予防保全型	2022	Ⅱ (3)	2027	
130	千村 2 0 号橋	4.80	RC橋	1959	予防保全型	2021	Ⅰ (5)	2026	
131	田頭橋	42.90	PC橋	2015	予防保全型	2020	Ⅱ (M)	2025	

## 個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				管理方針	直近における点検結果		次回点検年度	2025年度～2029年度の対策内容
	橋りょう名	橋長(m)	橋梁形式	竣工年		点検年度	健全性 (対策区分)		
132	甘柿橋	33.50	PC橋	不明	予防保全型	2020	Ⅱ (3)	2025	
133	1 号橋 1 6	3.30	RC橋	不明	予防保全型	2022	Ⅰ (5)	2027	
134	2 号橋 4	3.30	RC橋	不明	予防保全型	2022	Ⅰ (5)	2027	
135	すが沢橋	3.98	RC橋	不明	予防保全型	2021	Ⅰ (5)	2026	
136	谷戸大橋	2.60	RC橋	不明	予防保全型	2021	Ⅰ (5)	2026	
137	1 号橋 1 7	4.50	溝橋	不明	事後保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
138	八沢台橋	4.20	RC橋	1953	予防保全型	2021	Ⅱ (3)	2026	
139	台下橋	6.89	PC橋	1990	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
140	八沢土橋	2.40	溝橋	不明	事後保全型	2023	Ⅰ (5)	2028	
141	柳川土橋	4.30	RC橋	不明	予防保全型	2021	Ⅱ (3)	2026	
142	上 9 号橋	3.84	RC橋	不明	予防保全型	2022	Ⅱ (3)	2027	
143	溝ノ尾橋	6.93	PC橋	1976	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
144	塚原橋	39.07	PC橋	1975	予防保全型	2022	Ⅰ (4)	2027	
145	1 号橋 1 8	5.80	PC橋	1989	予防保全型	2022	Ⅰ (5)	2027	
146	1 号跨線橋	22.80	PC橋	1927	予防保全型	2020	Ⅰ (5)	2025	
147	大東橋	4.50	溝橋	不明	事後保全型	2022	Ⅰ (5)	2027	
148	中里橋 2	2.00	溝橋	1985	事後保全型	2022	Ⅱ (3)	2027	
149	蓬来人道橋	42.30	鋼橋	1989	予防保全型	2020	Ⅱ (3)	2025	
150	堀戸大橋	42.00	鋼橋	1992	予防保全型	2022	Ⅰ (4)	2027	
151	平成橋	36.00	鋼橋	1994	予防保全型	2020	Ⅱ (3)	2025	
152	南矢名陸橋	171.50	PC橋	1994	予防保全型	2020	Ⅲ (2)	2025	※R1～R6修繕済み
153	堀八幡橋	30.00	鋼橋	1993	予防保全型	2020	Ⅱ (3)	2025	

## 個別の構造物ごとの事項

NO.	構造物の諸元				管理方針	直近における点検結果		次回点検年度	2025年度～2029年度の対策内容
	橋りょう名	橋長(m)	橋梁形式	竣工年		点検年度	健全性 (対策区分)		
154	下落合橋	28.50	PC橋	1995	予防保全型	2020	Ⅱ (M)	2025	
155	ボックス	2.80	溝橋	不明	事後保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
156	なかまる橋	23.20	PC橋	1995	予防保全型	2021	Ⅰ (4)	2026	
157	東名大槻橋	60.50	PC橋	1999	予防保全型	2021	Ⅱ (3)	2026	
158	緑風橋	45.20	鋼橋	2001	予防保全型	2020	Ⅱ (3)	2025	
159	上尾尻橋	22.66	PC橋	1988	予防保全型	2020	Ⅱ (3)	2025	
160	大上橋	14.00	PC橋	1985	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
161	杉ノ木橋	4.00	溝橋	不明	事後保全型	2022	Ⅱ (3)	2027	
162	天王下橋人道橋	28.00	鋼橋	2001	予防保全型	2020	Ⅱ (M)	2025	
163	今泉蛸橋	18.50	PC橋	2002	予防保全型	2020	Ⅱ (3)	2025	
164	無名橋	14.00	PC橋	2004	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
165	新川橋	4.90	RC橋	不明	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
166	下延沢橋	12.00	PC橋	2000	予防保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	
167	せんずい橋	6.80	溝橋	不明	事後保全型	2023	Ⅱ (3)	2028	

※補修設計等により対策の内容が変更することもあります。

※定期点検や日常パトロール及び緊急点検などの結果により、対策時期を変更することもあります。